

# 平成 26 年度日臨技近畿支部臨床化学研修会

<生涯教育研修課程 専門 - 20 点>

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

実務担当技師会：公益法人 兵庫県臨床検査技師会

テーマ：「ブラックボックスを可視化する」

～実験操作を通じて臨床化学分析の基礎理論をマスターしよう～

ねらい：自らの用手操作でデータを得ることにより、自動化されたルーチン検査においても理解が深まり応用可能となること。もう一度基礎からマスターしたい方、ステップアップしたい方に最適です。

日時：平成 27 年 2 月 22 日（日）9：30～17：00

場所：神戸常盤大学 〒653-0838 兵庫県神戸市長田区大谷町 2-6-2

定員：40 名（先着順）

受講料：日臨技会員 3000 円（テキスト付）、非会員 5000 円

\*日臨技行事のため、各地区臨床検査技師会会員のみの方は非会員扱いとなります。

内容

9：00～9：30 受付

9：30～9：40 開講式 中町祐司 近畿支部長挨拶

9：40～10：40 講義 1 「臨床化学分析の基礎理論について」

ファルコバイオシステムズ総合研究所 藤本一満 先生

10：40～11：30 講義 2 「試薬開発と自動分析へのアプリケーション」

株式会社セロテック企画開発部 細川幹夫 先生

11：30～12：00 講義 3 「実験操作の説明と自動分析との対比」

関西労災病院 芝原裕和 先生

12：00～13：00 休憩

13：00～16：50 実習 「用手分析の実技」

分光光度計、検査試薬を使用して、参加者各自が濃度項目の分析を行い濃度計算の基本を習得するための実験操作を行います。実務指導員を 3～4 名に 1 名配置しますので理解できるまで質問可能です。

実習担当 神戸常盤大学 澁谷雪子 先生、京都保健衛生専門学校 後藤直樹 先生  
市立敦賀病院 東正浩 先生、岸和田徳洲会病院 山中良之 先生  
和歌山県立医科大学 堀瑞伸行 先生、奈良県立医科大学 倉田主税 先生  
近江八幡市立総合医療センター 元中秀行 先生  
神戸常盤大学教員、兵庫県臨床検査技師会臨床化学研究班員 他

16：50 閉講式

申し込みについて 平成 26 年 12 月 15 日～平成 27 年 2 月 10 日の期間に

日臨技会員番号、所属先、氏名 をメールにて下記へ、詳細は追って連絡します。

関西労災病院中央検査部 芝原裕和 メール：[kagaku@kanrou.net](mailto:kagaku@kanrou.net)